



政府は、「すべての女性が輝く社会づくり」を最重要課題に位置づけ、その活動のひとつとして「輝く女性応援会議」が全国で開催されています。

高知県は7月、全国に先駆けて「輝く女性応援会議in高知」を開催し、そこで「輝く女性たち」の活動報告やこれを「応援するリーダー」の取り組みが発表され、『高知県の女性活躍応援宣言』を発表しました。

そこで、今回のハーモニーでは、南国市の輝く人をご紹介します。

## さまざまな舞台で輝く 南国市の人たち

## 子どもたちの 輝く未来のために！



スクールサポーター  
上松 京子さん  
※写真は、南国市少年育成センター職員と

南国警察署に平成20年度から設置され、管内で唯一のスクールサポーターとして7年目になる上松京子さん。日頃は、児童や生徒に対する非行・犯罪被害防止教育の指導支援、量販店などに対する防犯指導、地域安全情報などの把握および提供など、さまざまな仕事をされています。

### 「子どもを覚えてもらうため」

1年間に市内の小中学校を一巡することを目標に、非行防止や薬物乱用防止などの教室を実施している上松さん。事前に必ず、担任の先生などと打ち合わせを行い、できるだけ学校・学年・クラスの実情に合った教室実施を心掛けているそうです。

教室で直接、子どもたちに話をするのができ

るのは、多い学校でも1年に1〜2回です。子どもたちには、とにかく自分を覚えてもらい、会う度に以前勉強したことを思い出してもらって、子どもたちの学びの積み重ねにしたいと話します。

生活安全課長によると、「お子さんが好きで、できる限り登下校の見守りに出かけて行く。地域の子どもたちの顔や名前も、よく覚えている」と、地道な活動の様子がうかがわれます。

### 「子どもたちの安心安全のために」

地元南国市での活動ということで、学校にご縁のある先生方がいらつしやることや、市内ではスクールサポーターの存在が定着してきて、直接教室の依頼をしてくれる学校も多く、大変ありがたいと話す上松さん。日頃から学校と連携し、学校や地域、そして子どもたちの状況を把握することで、子どもたちの犯罪被害や非行の防止に、つながっていくのでしょうか。

### 「素直なままで」

「仕事上、法律の話をすることも多いですが、子どもたちには身近な学校や家庭のルールを守ることの大切さを伝えていきます。ありきたりですが、自分の話を聞いて素直に理解する、その素直さを失わずに、段階を踏んで成長していつてもらいたい」と締めくくられました。

子どもたちの輝く未来を見つめる上松さんは、子どもたちにとって輝く大人のお手本になるのではないのでしょうか。

## 仲間たちに 支えられて…



消防士(救急救命士)  
橋本 佳代子さん

平成22年4月、南国市で初めての女性消防士が誕生したことを、皆さんはご存知でしょうか。橋本佳代子さんは、南国市消防署で救急救命士として活躍しています。

### 「私の役割」

妊婦さんや女性の患者さんの場合、同性の消防士であることで安心感を持ってもらえることもありますが、逆に男性の患者さんの現場では、配慮が必要なことも…。「女性がさまざまな現場で不快に感じることは、逆の立場になれば男性も同じ」と、初めて出勤した現場で実感したという橋本さん。また、女性としてできることがあると思っていたが、実際には、できないことの方が多かったと言います。しかし、何でも男性と同じようにしようとするのではなく、役割分担を意識できるように努めるから、気持ちが高ぶるなり、仲間とう

まく連携して現場に向かうことができるようになったそうです。

### 「同期とつながる感謝の気持ち」

南国市消防署では、橋本さんが入庁するにあたり、自発的にセクハラ研修を複数回実施するなど、女性消防士を仲間として受け入れる準備に余念がありませんでした。

一方、採用が決まってから、橋本さんが最も不安に感じていたことは、唯一の女性消防士として仲間に入れてもらえるか、ということ。しかし、入庁してみると、5人の同期メンバーとはすぐに打ち解け、半年間の消防学校での研修を共に乗り越え、現在もとても仲が良いのだそうです。先輩たちからも、当初から、女性だからと「特別扱いほしくない」と言われ、ひとりの消防士として受け入れてもらえたことが、ありがたかったと話します。

### 「つらいけど輝かせよう」

橋本さんは、「今回のように、数少ない女性消防士として取り上げられることもあるが、子育てを頑張っている人、さまざまな職場環境で一生懸命働いている人が私の周りにもたくさんいて、そんな人たちはずっとずっと輝いている」と話します。

そして、「周りの人たちのおかげで、消防士というやりがいのある仕事ができている」という周囲への感謝の言葉が、印象に残りました。

## 女性も 男性も 輝く南国市へ

消防士の橋本さんもおっしゃっていますが、たったひとりで輝くことはできません。また、輝く舞台はそれぞれ異なります。

人が「輝く」ためには、性別に関わらず、互いに認め合い、支え合える家族や友人、同僚など、たくさんの人の助けが必要です。

女性も男性も、それぞれの分野で輝くことのできる社会を目指して、そのためにできることは何か。家庭から、職場から、地域から、自分たちにできることから始めてみませんか。

南国市の男女共同参画社会に向けた取り組みを、市ホームページにてご覧いただけます。  
↓「男女共同参画社会を目指して」をクリックしてください。

※お問い合わせは  
生涯学習課生涯学習人権係  
(☎880・6569)まで